

26PB-pm295

女子中高生の医療系進路選択を支援する取り組みにおける病院見学プログラム

○岡田 みどり¹, 中村 裕子¹, 佐藤 梓¹, 岡谷 理恵子¹, 吉田 珠子¹, 内田 啓子¹, 齋藤 加代子¹ (1東京女子医大)

【目的】東京女子医大では、JSTの支援を受け、東京薬科大学、早稲田大学、東京都教育委員会などとの協力体制で、女子中高生を対象に「未来のいのちと健康を支えるのはあなた」プログラムを実施しており、年会でもすでにその成果について報告をしている。今年度は新たに、様々な職種の医療関係者が患者を中心としたチーム医療を行っていることを、フレッシュな感性をもつ中高生に知ってもらうことを狙いとして、病院内のバックヤード見学を実施したので報告する。

【方法】「チームで支える病院の仕事」と名付けたイベントで、中学2年生から高校2年生までの女子生徒を募集して行った。土曜日の午後、外来診療が終了した後の病院内で、様々な職種の医療関係者が患者のために働いていることを知ってもらうため、「眼科外来」「病棟看護」「薬剤部」などの見学を実施した。それぞれの現場では、女性医療者が生徒に医療現場の最前線について説明と案内、実演などをおこなった。

【結果】抽選で選ばれた高校生14名、中学生5名が2グループに分かれて各部署を見学した。生徒にとっては初めて足を踏み入れる病院内の施設見学のため、非常に刺激的であり「素晴らしい体験が出来た」という声が数多く聞かれた。終了後のアンケート分析の結果、約9割の生徒が「今回の取り組みに参加したことが進路選択の参考になった」と答えており、もともと理科や数学が必ずしも得意でない生徒でも、それを勉強することは「自分の将来のために重要だ」と感じたことがわかった。生徒から「医療がチーム医療で成り立っているという事、各部門が連携して患者さんにサービスを提供しているのだな」という事が分かりました。参加出来て本当に良かったです」という感想が得られたことから本取り組みの目標が達成できたと考えている。